

科研費セミナー案内



こう書けば通る！

科研費の書き方のコツ

2013 年 9 月 13 日(金) 17:30～
病院3階大ホール

腎・泌尿器科学
細胞生化学

郡 健二郎 先生
中西 真 先生

ご好評をいただいております科研費セミナーを今年も企画致しました。本年度の科研費獲得額が、皆様のご努力により過去最高の 7 億 6 千万円を超え、特に基盤研究 (C) については全国 7 位となりました。

この成果を踏まえ、今年は少し趣向を変えて、お二人の先生からお話をさせていただきます。

郡先生の実験分野では、本年度の科研費獲得数が 49 件 (継続 26 件含む) で、全国一のことだと思えます。その基本となるノウハウを若手研究者に向け、ご伝授いただきます。

中西先生は科研費のみならず、大型研究費獲得の第一人者です。前述のように、基盤 C や若手 B の著しい増加に加え、さらに基盤 A、B、もっと上のクラスの獲得を目指すべく、それに向けたご講演をいただきます。

企 画: 医学研究科

連絡先: 医学部事務室(内線 8078)

担 当: 高橋・坂下

役割：名古屋市立大学の有する資源を活用し、市民、地域社会、企業等との協働を通じて、産学官連携及び地域を志向する教育、研究との運動による社会貢献の推進を行う。

社会連携センター一会議 (議長：宇長)

- 産学官・地域連携に関する基本方針の策定
- 産学官・地域連携・全学的な地域連携プロジェクトの推進に関する諸調整
- 産学官・地域連携・全学的な地域連携プロジェクトの実施状況の把握
- 産学官・地域連携・全学的な地域連携プロジェクトの廃止に関する事項

產學官連携研究推進委員会
(委員長: 菅 孝雄・地域連携担当理事)

- 産学官連携に関する諸施策の企画、広報及び推進に関する事項 ○ 発明等の取扱いについての重要事項
- 教職員に対する諸制度の啓発及び研修 ○ 利益相反についての重要事項
- 産学官連携の実施、諸規程の制定・改廃に関する意見 申 ○ 安全保障貿易管理についての重要事項

光明委员会 委员长：座学官・地域連携担当理事）

- 届出された発明に係る職務発明の認定、機関帰属及び特許出願の判定並びに当該発明に係る権利の持分の認定についての審査
- 審査請求時、登録維持年金時における当該特許権に係る評価審査
- 機関帰属の判定などに係る紛争処理

利益相反委員(委員長:研究・國際担当理事)

- 利益相反ガイドラインの検討及び原案の作成
- 利益相反マネジメントのための調査方法の検討及びその調査結果の分析

地域連携・公開講座委員会（委員長：地域貢献・教育担当学長補佐）

- 全学的に行う地域連携の企画、広報及び推進に関する事項
○ 公開講座の企画及び運営に関する事項
○ 公開講座の基本的計画の策定
○ 教職員に対する諸制度の啓発及び研修

地域連携プロジェクト推進委員（COC事業推進委員）

- 地域志向教育、研究、社会貢献の運動による全学的な地域連携プロジェクトに関する企画、広報及び総合調整
- 全学的な地域連携プロジェクトに関する自己点検評価の実施
- その他全学的な地域連携プロジェクトの推進に関すること

平成25年度市民公開講座等一覧(平成26年3月31日現在)

内 容	学部・研究科	講 座 名	定 員	所要者数	日数	定べ受講者数	受講者数	講 師 数		受講料	開 催 日	開 催 場 所
								人 数	学外講師数(内訳)			
市民公開講座	医学研究科(第1講座)	脳の健康～脳はからだの司令塔。脳を学んで健康長寿を目指しましょう！～(3講演)	320	302	1	205	205	3	0	500	平成25年11月9日(土) 13:00～16:30	桜山キャンパス 附属病院 病棟・中央診療棟3階ホール
	薬学研究科(第2講座)	「病氣」と「遺伝子」の関係～「すり」は遺伝子に勝てるか？～(3講演)	180	171	1	106	106	3	0	500	平成25年10月19日(土) 13:00～17:00	田辺通キャンパス 講義・図書館機1階 室田専治記念ホール
	経済学研究科(第3講座)	情報ネットワークの深化と経営革新(2講演)	100	45	1	32	32	2	0	500	平成25年10月5日(土) 10:00～12:00	滝子キャンパス 3号館 101教室
	人間文化研究科(第4講座)	文化と価値を再考する	100	98	1	72	72	1	0	500	平成25年10月12日(土) 10:30～12:00	
		A「カトリック総本山、バチカンの秘密 - 教皇の歴史的交代劇をめぐって -」 B「"ESD"って何のこと？ - ESDユネスコ世界会議あいち・なごや に向けて -」	80	38	1	24	24	1	0	500	平成25年11月2日(土) 13:30～15:00	滝子キャンパス 1号館 203教室
	芸術工学研究科(第5講座)	アート&ログテイクス～人間は機械に何を夢見たか？～(2講演)	40	40	1	20	20	2	0	500	平成25年11月16日(土) 13:00～17:00	北千種キャンパス 芸術工学科 W101教室
	看護学部(第6講座)	家庭で活用できる感染予防の基礎知識～標準予防策～(3講演)	63	63	1	44	44	3	0	500	平成25年10月12日(土) 13:30～15:00	桜山キャンパス 看護学部棟 308講義室 502・503・505実習室
健康科学講座 オーブンカレッジ	システム自然科学研究科(第7講座)	ウイルスを知る～インフルエンザウイルスから内在性ウイルスまで～	110	100	1	74	74	1	0	500	平成25年10月5日(土) 14:00～16:30	桜山キャンパス 本部棟4階ホール
	6研究科＋1学部	のべ8講座	993	857	8	577	577	16	0			
		第1期:「疫学から見た世界」 第2期:「こころと脳の医学最前線」 第3期:「重大疾患の予防学～日常生活の中でできることを考える～」	80	89	8	634	80	8	4	8,000	平成25年6月7日～7月26日 毎週金曜日 18:30～20:00	桜山キャンパス 医学部研究棟 11階講義室A
	医学研究科		80	152	8	439	142	8	1	8,000	平成25年9月6日～10月25日 毎週金曜日 18:30～20:00	桜山キャンパス 医学部研究棟 11階講義室A
			80	108	8	323	103	8	1	8,000	平成25年11月8日～平成26年1月10日 毎週金曜日(12月27日、1月3日は除く) 18:30～20:00	桜山キャンパス 医学部研究棟 11階講義室A
		Human & Socialサイエンス・カフェ	30	267	6	266	266	6	0	1,000 (土) 15:00～17:00	平成25年4月27日(土)～平成26年2月22日 (土) 18:30～20:00	サクラサイドテラス
		マンデーサロン	-	161	7	161	161	7	1	0 (月)	平成25年4月22日(月)～平成26年3月24日 (月) 18:30～20:00	滝子キャンパス 1号館 1階会議室
サイエンス・カフェ	人間文化研究科	サイエンスカフェ イン 名古屋	40	395	11	392	392	11	1	600 (金) 18:00～20:00	平成25年4月19日(金)～平成26年3月14日 (金) 18:00～20:00	ナディアパーク7階 7 theate(セブンスカフェ)
	システム自然科学研究科	1.看護研究いろはの「い」 2.看護研究いろはの「ろ」データの取り扱い 3.血液ガス モニタリングから読み取る呼吸と循環の動態 4.患者急変対応「何か変、と思ったとき・・・」	30	16	2	30	16	1	0	2,000	平成25年9月12日、9月19日 木曜日 18:30～20:30	
			20	23	1	21	21	1	0	3,000	平成25年9月28日 土曜日 9:30～16:30	
			30	19	3	41	17	1	0	3,000	平成25年10月17日、10月31日、11月14日 木曜日18:30～20:30	桜山キャンパス 看護学部棟内
	看護学部		30	26	1	21	21	2	0	3,000	平成25年11月16日 土曜日 9:30～16:30	
		なごや看護生涯学習セミナー講演会 「東日本大震災 - 緊急から復興フェーズへ、そして今求められる保健医療支援 -」 (科目№13-101)必ず役に立つ臨床栄養学・基礎から応用まで	300	66	1	66	66	1	1	500	平成25年11月13日(水)18:30～20:00	名古屋市立大学附属病院ホール (病棟・中央診療棟3階)
			40	40	15	444	40	17	4	10,000	平成25年4月16日～7月30日 毎週火曜日 18:30～20:00	桜山キャンパス 病院西棟 臨床シミュレーションセンター
医療・保健 学びなおし講座		(科目№13-102)脳の健康を考える - 認知症、うつ病のいま	80	52	15	545	50	13	4	10,000	平成25年4月17日～7月31日 毎週水曜日 18:30～20:00	桜山キャンパス 医学部研究棟 11階講義室A
		(科目№13-103)リハビリテーション医療の現状と関連分野における進歩	80	30	15	254	29	15	6	10,000	平成25年4月18日～8月1日 毎週木曜日 18:30～20:00	桜山キャンパス 医学部研究棟11階講義室A・病院西棟 臨床シミュレーションセンター
	医学研究科	(科目№13-201)感染症のABCから上まで	80	41	15	437	40	15	8	10,000	平成25年9月3日～12月17日 毎週火曜日 (12月10日は除く) 18:30～20:00	桜山キャンパス 医学部研究棟 11階講義室A・B

内 容	学部・研究科	講 座 名	定 員	応募者数	日数	定べ受講者数	受講者数	講 師 数		受講料	開 催 日	開 催 場 所
								人 数	学外講師数 (内数)			
東海薬剤師生涯学習センター講座	薬学研究科	(科目№13-202)発達障害を学ぶ:医学的理解から教育/療育へ	80	79	15	892	76	10	7	10,000	平成25年9月4日～12月11日 毎週水曜日 18:30～20:00	桜山キャンパス 医学部研究棟 11階講義室A・併設3階 大ホール
		(科目№13-203)Birth Tour 2013 - 安全なお産を目指して	30	27	15	322	26	14	2	10,000	平成25年9月9日～12月12日 毎週水曜日 18:30～20:00	桜山キャンパス 病院西棟 臨床シミュレーションセンター・ 医学部研究棟11階講義室B
		東海薬剤師生涯学習センター講座・講義コース	100	52	9	338	52	9	7	8,000	平成25年5月15日・6月12日・7月10日・8月14日・9月11日・10月9日・11月13日・12月11日・平成26年1月8日 水曜日 20:00～21:30	田辺通キャンパス 講義・図書館棟1階 田辺専治記念ホール
		東海薬剤師生涯学習センター講座・演習コース	10	10	4	26	10	1	0	1,000	平成25年12月5日・12月19日 平成26年1月16日・1月23日 木曜日 19:00～20:30	田辺通キャンパス 薬学部実習棟2階
チーム医療に貢献する薬局薬剤師の養成講座	薬学研究科	名古屋市大チーム医療に貢献する薬局薬剤師養成研修	40	60	22	695	50	135	18	0	平成25年6月18日・24日・6月29日・7月7日・13日・24日・8月11日・17日・14日・24日・10月6日・13日・19日・11月17日・24日・12月1日・8日・14日・平成26年1月18日・24日・3月5日・11日・18日・24日 13時～17時	田辺通キャンパス 薬学部実習棟 桜山キャンパス 病院西棟 臨床シミュレーションセンター
薬学部卒業後教育講座	薬学研究科	睡眠障害における薬物治療 他	250	224	3	560	224	6	3	5,000	平成25年9月8日(日) 9:30～11:00 11:20～12:50 平成25年10月6日(日) 9:30～11:00 11:20～12:50 平成25年11月10日(日) 9:30～11:00 11:20～12:50	田辺通キャンパス 講義・図書館棟1階 田辺専治記念ホール
		前期:「マーケティング」	30	109	15	323	28	1	0	0	平成25年4月15日(月)～7月22日(月)・24日(水)9:00～10:30	滝子キャンパス 3号館 101教室
		後期:「経済史」	30	91	15	327	28	1	0	0	平成25年9月25日～1月15日 毎週水曜日 (12/25/1/1を除く) 10:40～12:10	滝子キャンパス 3号館 101教室
		前期:「共生のコミュニケーション」 前期:「心理検査法」	5 5	45 29	14 15	167 51	15 5	1 0	0	0	平成25年4月10日～7月17日 毎週水曜日 14:40～16:10 平成25年4月11日～7月18日 毎週水曜日 9:00～10:30	滝子キャンパス 1号館 203教室 滝子キャンパス 1号館 310教室
授業公開	人文社会学部	前期:「政治学」	40	111	15	474	40	1	0	0	平成25年4月16日～7月23日 毎週火曜日 10:40～12:10	滝子キャンパス 2号館 404教室
		前期:「保育原理」	10	15	15	141	15	1	0	0	平成25年4月15日(月)～7月22日(月)・24日(水)13:00～14:30	滝子キャンパス 1号館 310教室
		後期:「英文法各論」	5	14	15	62	5	1	0	0	平成25年9月27日～1月17日 毎週金曜日 (12/27/1/3を除く) 13:00～14:30	滝子キャンパス 1号館 202教室
		後期:「名古屋と観光」	20	40	15	297	27	4	1	0	平成25年9月27日～1月17日 毎週金曜日 (12/27/1/3を除く) 13:00～14:30	滝子キャンパス 1号館 201教室
	芸術工学部	前期:「映像論」	15	38	15	155	14	1	0	0	平成25年4月11日～7月18日 毎週水曜日 13:00～14:30	北千種キャンパス 芸術工学部管理棟 A305
		後期:「地域空間構成論」	30	31	15	331	31	1	0	0	平成25年9月23日(月)～1月22日(月)・1/22(水)(11/4,12/23,12/30,1/13を除く) 10:40～12:10	北千種キャンパス 芸術工学部管理棟 A202教室
		後期:「看護学概論」	5	5	7	28	5	1	0	0	平成25年11月19日～1月14日 毎週火曜日 (12/24,12/31を除く) 10:40～12:10	桜山キャンパス 看護学部棟 301講義室
		文部科学省「未来医療研究人材養成拠点形成事業」 地域と育む未来医療人「なこやかモテリ」キックオフ・シンポジウム	500	-	1	380	380	1	1	0	平成25年12月7日(土)15:00～17:00	桜山キャンパス さくら講堂
	薬学研究科	文部科学省「専門的看護師・薬剤師等医療人養成事業」 ＜チーム医療に貢献する薬局薬剤師の養成＞記念シンポジウム	200	80	1	75	75	2	1	0	平成26年3月16日(日)13:00～16:00	田辺通キャンパス 講義・図書館棟1階 田辺専治記念ホール
		第18回 公開シンポジウム「データで見る経済と経営」	-	85	1	103	103	4	4	0	平成25年11月8日(金) 13:30～	滝子キャンパス 3号館 101教室
		公開講演会「現代社会と起業」	100	70	1	70	70	1	2	0	平成25年5月30日(木) 14:40～17:00	滝子キャンパス 3号館 101教室
		公開講演会・シンポジウム「現代社会における文化財保護の新しいあり方 ―「ハブリック・アーケオロジ」の視座から―」	200	97	1	97	97	4	3	0	平成25年10月27日(日) 13:30～17:00	桜山キャンパス さくら講堂
シンポジウム	人間文化研究所	国際シンポジウム「多言語が響きあう文学」・ドイツ語圏越境作家たちと もに考える	40	40	1	40	40	10	7	0	平成25年11月22日(土) 10:00～12:30 13:30～18:00	滝子キャンパス 1号館 1階会議室
	人間文化研究所	国際シンポジウム「ESDと大学2―持続可能な地域社会のために―」	200	62	1	62	62	5	1	0	平成26年2月8日(土) 13:30～17:30	滝子キャンパス 1号館 201教室

内 容	学部・研究科	講 座 名	定 員	応 募 者 数	日 数	延 べ 受 講 者 数	受講者数	講 師 数		受 講 料	開 催 日	開 催 場 所
								人 数	学外講師数 (内数)			
薬草園市民公開	芸術工学研究科	「サイエンスイラストラレーション入門」・北米のサイエンスイラストラレーション教育プログラムを中心に・	350	25	1	25	25	1	1	0	平成25年10月5日(土)10:30～12:00	北千種キャンパス 大講義室(図書館棟2階)
	芸術工学部	J'NCU附属環境デザイン研究所イノベーションデザイン講演会×Medical Innovation Project第3回医療人養成講座	320	169	1	169	169	1	1	0	平成25年5月27日(月) 18:00～19:30	桜山キャンパス 附属病院 病棟・中央診療棟3階ホール
	22世紀研究所	名古屋市立大学22世紀研究所設立記念講演会	660	359	2	390	390	4	0	0	平成25年6月21日(金) 14:40～16:10 平成25年6月22日(土) 13:30～16:30	鴻子キャンパス 1号館20教室 桜山キャンパス さくら講堂
	22世紀研究所	名古屋市立大学22世紀研究所講演会 「生命科学の明日はどちらだ！？」	266	240	1	230	230	2	1	0	平成25年9月20日(金) 14～16:30	田辺通キャンパス 宮田尊治記念ホール
	22世紀研究所	名古屋市立大学22世紀研究所講演会 「PS細胞技術を用いて開発する未来の医療」	320	220	1	210	210	1	1	0	平成26年1月30日(木) 17～18:30	名古屋市立大学附属病院ホール (病棟・中央診療棟3階)
患者さんと御家族のためのセミナー	薬学研究科	春の薬草園の市民公開	75	236	2	150	150	1	0	500	平成25年5月10日(金)、5月11日(土) 1000～1200	田辺通キャンパス 講義・図書館棟1階 宮田尊治記念ホール、薬草園
	医学研究科	秋の薬草園の市民公開	75	186	2	151	151	1	0	500	平成25年10月4日(金)、10月5日(土) 1000～1200	田辺通キャンパス 薬友会館3階 水野ホール、薬草園
	医学研究科	第15回患者さんと御家族のための高血圧セミナー～脳卒中や心臓病に ならない為には～	300	-	1	239	239	4	0	0	平成25年6月23日(日)13:30～16:00	名古屋市立大学附属病院ホール (病棟・中央診療棟3階)
	市大附属病院	「脳動脈瘤の治療」ほか	-	183	6	183	183	6	0	0	平成25年4月26日(金)、6月24日(月)、 8月29日(木)、10月18日(金)、12月13日 (金)、 平成26年2月28日(金)	名古屋市立大学附属病院 名古屋総合診療センター (病棟・中央診療棟1階)
	看護学部 看護実践研究センター	第1回地域貢献セミナー「エイズから学ぶ・30年の変遷とこれから」	100	39	1	39	39	1	0	500	平成25年7月8日(土)13:00～15:00	桜山キャンパス 看護学部棟 308講義室
名古屋工業大学 経営トップセミナー	経済学研究科・附属経済研究所	アジア新興経済のフロンティア～アジア産業経済の新展開と展望～	-	100	1	100	100	3	2	0	平成25年12月11日(水)13:00～	名古屋工業大学 2号館1階 0211 教室
名古屋市立大学 「医・薬・看の連携研究の推進」 助成事業	医学研究科 薬学研究科 看護学部	保育所における感染症予防対策～次世代の健やかな育成のための感染症対策～ 保育所における感染症予防対策～次世代の健やかな育成のための感染症対策～	300	115	1	117	117	4	1	0	平成25年12月5日(木)13:30～17:00	桜山キャンパス さくら講堂
千種生涯学習センター 共催連携講座	芸術工学研究科	「芸術工学の諸相～身体・動作・感覚・環境～」	40	27	1	31	31	4	0	0	平成25年12月13日(金)14:00～17:00	桜山キャンパス 看護学部棟 5階 講義室・実習室
女性会館共催連携講座	薬学研究科	女性のための健康「くすり」講座	40	41	2	40	40	4	4	0	平成25年10月21日(月)10:00～12:00、 11月11日(月)13:30～15:30	北千種キャンパス アゼンブリーホール 2 階環境デザイン研究所セミナールーム
	人間文化研究科	心理学～脳の本性とうまくつきあおう	30	130	3	108	36	1	0	0	平成25年6月28日～7月12日 毎週金曜日 10:30～12:00	名古屋市女性会館 第4集會室 名古屋市女性会館 第4集會室
講座数			90	384		12,990	5,656	383	97			

講座数…「サイエンスカフェ」「薬草園市民公開」など、毎回受講者を募集するような講座の場合は、開催回数が講座数となるが、講座内容が同一の場合は講座数は1回とカウントしている。
 受講者数…「オープンカレッジ」「授業公開」などの連続講座(同じ受講者が複数回受講する講座)の場合は、実受講者数を記載
 「サイエンスカフェ」「薬草園市民公開」など、毎回受講者を募集するような講座の場合は、各回のトークルの受講者数(延べ受講者数)を記載
 公開講座…この表に記入する講座、講演会、シンポジウム等は、本学が主催または共催で実施するもの

【年度計画75】

「第16回国際福祉健康産業展～ウェルフェア2013～」開催結果

●開催規模及び来場者数

開催期日	平成25年5月24日(金)～26日(日)	
会場	ポートメッセなごや 3号館	
展示規模	128社・団体、360小間 (昨年比 5社・団体、43小間)	
来場者数	71,014人 (昨年比+327人)	
内 訳	第1日目 24日(金)	天候：晴れ 25,542人
	第2日目 25日(土)	天候：晴れ 22,988人
	第3日目 26日(日)	天候：晴れ 22,484人

●併催企画参加者数

ウェルフェア健康大学(総参加者数 2,092人 うち名市大担当分 1,685人)	参加者数
がん細胞の特徴を知って、がんのくすりを理解する 名古屋市立大学 薬学研究科 准教授 長田 茂宏氏	71人
疑問すっきり、高血圧！ 名古屋市立大学 医学研究科 准教授(循環器内科 副部長) 土肥 靖明氏	82
高齢者の目の病気の予防と治療 名古屋市立大学 医学研究科 准教授(眼科) 安川 力氏	69
高齢者の健康・栄養問題について 愛知淑徳大学 健康医療科学部 准教授 榎 裕美氏	101
胃癌予防とピロリ菌除菌療法 名古屋市立大学 医学研究科 准教授(内視鏡部 副部長) 片岡 洋望氏	45
セルフメディケーションで成人病を賢く予防～薬局を上手に活用しよう～ 名古屋市立大学 薬学研究科 教授 鈴木 匡氏	39
睡眠障害が脳と心臓に及ぼす影響 名古屋市立大学 医学研究科 准教授(睡眠医療センター 部長) 中山 明峰氏	135
糖尿病：血糖値調節のための新たな運動方法～10分間の運動で血糖値は下げられます～ 名古屋市立大学 システム自然科学研究科 教授 高石 鉄雄氏	107
最近の糖尿病についての話題 名古屋市立大学 医学研究科 病院教授(内分泌 糖尿内科 部長) 岡山 直司氏	118
腸から健康を考える～便秘を解消するためのスッキリ生活術 名古屋市立大学 看護学部 講師 樫野 香苗氏	138
高齢者が快適な食生活をおくるためには～誰でもできる本当の義歯の使い方、手入れについて～ 愛知学院大学 歯学部 高齢者歯科学講座 教授 服部 正巳氏	108
アルツハイマー病～予防法から最新治療まで～ 名古屋市立大学 医学研究科 准教授(神経内科部長 代理) 松川 則之氏	131
前立腺癌治療最前線～ロボット支援前立腺全摘除術～ 名古屋市立大学 医学研究科 准教授(泌尿器科) 戸澤 啓一氏	83
脳の健康を考える～アルツハイマー病のいま～ 名古屋市立大学 医学研究科 教授 道川 誠氏	108
高齢者ケアに必要な感染予防～感染症から守るためにできること～ 名古屋市立大学 看護学部 准教授 脇本 寛子氏	81
切れる肺がん・治るはいがん 名古屋市立大学 医学研究科 准教授(呼吸器外科 副部長) 矢野 智紀氏	64
緩和ケア～あなたがあなたらしくすごすために～ 名古屋市立大学 医学研究科 助教(緩和ケア部) 坂本 宣弘氏	79
これだけは知っていて欲しい、薬の飲み合わせ！ 名古屋市立大学 医学研究科 教授(薬剤部 部長) 木村 和哲氏	87
がん向き合う社会へ～がん薬物療法の視点から～ 名古屋市立大学 医学研究科 准教授(化学療法部 部長) 小松 弘和氏	60

百年折れない骨をつくるために今できること～骨粗しょう症による寝たきりを防ぐ～ 藤田保健衛生大学 医学部内分泌代謝内科 准教授 鈴木 敦詞氏	106人
認知症の理解と予防～自分らしく生活するために～ 名古屋市立大学 看護学部 講師 淵田 英津子氏	105
ロボット手術（ダヴィンチ）におけるがん治療の最前線 藤田保健衛生大学病院 上部消化管外科 教授 宇山 一朗氏	92
脳梗塞の最新治療と予防 名古屋市立大学 医学研究科 病院教授（脳神経外科 部長） 間瀬 光人氏	83

ウェルフェアいきいき健康教室（実技体験）	（総参加者数 371人）	参加者数
健康体操 自強術（じきょうじゅつ） （公社）自強術普及会 中部総支部長 永井 弘子氏		151人
健康太極拳～ゆるやかに気をめぐらし誰でも出来る健康太極拳～ 揚名時太極拳 師範 糸柳 元英氏		53
健康体操 真向法（まっこうほう）～1日3分間 真向法体操で心も体も美しく～ 愛知真向法体操会 会長 内藤 清逸氏		51
気功健康法～気功で元気になりましょう～ 中日気功研修会 会長 林 茂美氏		116

ウェルフェアお役立ちセミナー	（総参加者数 210人）	参加者数
危険予知を取り入れた安全運転法 （一社）日本自動車連盟 愛知支部 寺本 浩氏		87人
高齢者の住まいを巡る法律相談～老後を快適に過ごすための住まいを一緒に考えてみませんか？～ 愛知県弁護士会 弁護士 松隈 知栄子氏		47
「災害時に自分と家族の命を守る」～大災害に備えて知っておきたいこと～ 名古屋第二赤十字病院 救急科部長 稲田 眞治氏		76

中部ライフガードTEC合同セミナー	（総参加者数 677人）	参加者数
南海巨大地震・津波災害への備え 三重県 南伊勢町 町長 小山 巧氏		314人
南海トラフ巨大地震の備え 内閣府 政策統括官（防災担当）付参事官（調査・企画担当） 藤山 秀章氏		242
南海トラフの巨大地震に対する減災の取り組み 名古屋大学 減災連携研究センター 准教授 護 雅史氏		95
災害時の身元不明者の歯科的所見による個人識別 愛知県歯科医師会 専務理事 須賀 均氏		26

ウェルフェア安心・安全音楽会	（総参加者数 381人）	参加者数
第1部 音楽療セミナー：美しい歌声は健康の源 - 歌う音楽療法 - 名古屋音楽大学大学院 教授 栗林 文雄氏		174人
第2部 「音楽隊演奏会」 協力：名古屋市消防音楽隊、愛知県警察音楽隊		207

●介護・福祉ビジネス討論会

超高齢社会におけるビジネスの創り方～介護福祉市場、事業成果の出た事例から対応を学ぶ～

共催：ウェルネスバレー推進協議会、新ヘルスケア産業フォーラム

聴講者数：170人

●同時開催

「おやのため、わたしのための総合施設展」 参加施設数：11施設

●併催企画イベント

「健康ファミリーウォーク2013」 参加者数：約1,000人

名古屋市立大学病院看護部・ブース出展 参加者数：1,260人

公立大学法人名古屋市立大学と名古屋市教育委員会との高大連携協力に関する協定書

公立大学法人名古屋市立大学(以下「甲」という。)と名古屋市教育委員会(以下「乙」という。)は、連携協力して高等学校教育と大学教育の相互理解を促進し交流を深めることにより、高等学校教育・大学教育の活性化を図ることを目的として、次のとおり協定を締結する。

(実施機関)

第1条 この協定書で定める連携協力は、甲と乙及びその所管に属する高等学校との間で実施する。

(連携協力の内容)

第2条 甲と乙は、次の事項について連携協力するものとする。

- (1)高校生が大学における高度な教育・研究に触れる機会の充実に関すること。
- (2)大学及び高等学校それぞれの教員による情報交換。
- (3)高等学校と大学とのそれぞれの教育連携に関すること。
- (4)その他甲と乙が必要と認めること。

(連携の方法)

第3条 甲と乙は、連携協力に当たって、高校生、大学生及び双方の教職員等の派遣及び受け入れが円滑に行われるよう努めるとともに、双方の施設等の利用についても便宜を図るものとする。
2 連携協力に際して発生する経費の負担等については、甲と乙が別途協議して決定する。

(高大連携協力推進協議会及び専門部会)

第4条 甲と乙は、第2条各号に掲げる事項について協議及び情報交換を行うため、公立大学法人名古屋市立大学と名古屋市教育委員会との高大連携推進協議会(以下「高大連携推進協議会」という。)を設置する。
2 甲と乙は、必要に応じて、連携協力に係る具体的な内容の協議や連携事業の実施のため、高大連携推進協議会専門部会を設置することができる。

(有効期間)

第5条 この協定書の有効期間は、平成27年 月 日までとする。ただし、甲、乙いずれからも改廃の申し入れがないときは、さらに1年間延長するものとし、その後もまた同様とする。

(補則)

第6条 この協定書に定めるもののほか、必要な事項については、甲と乙が協議の上、別途定めるものとする。

本協定書を証するため、本書2通を作成し、甲乙それぞれ記名押印の上、各自1通を保有する。

平成26年 月 日

公立大学法人名古屋市立大学長

名古屋市教育委員会教育長

国際交流センターの設置について

1 趣 旨

平成 25 年度年度計画では、従前の「国際交流推進センター」を「国際交流センター」とすることを旨としていたが、平成 26 年度より、同計画に従い、「国際交流センター」を設置して、現行の「国際交流推進センター」と学生課国際交流係を統合して業務を一体化し、事務処理体制と学生への対応を効率的に行えるよう、その機能の強化を図るものである。

2 「国際交流センター」の体制について

国際交流センターの体制については、その充実を図るため、引き続き、整備していくこととするが、平成 26 年度の体制等については、次のとおり

(1) 人員

係長 1 名(学生課長事務取扱)、主事 1 名、契約職員 3 名で運営する。

(2) 場所

滝子キャンパス学生会館 2 階 学生課国際交流係事務室に隣接する部屋に置く。

(3) 業務

現行の国際交流係分掌業務と国際交流推進センターの分掌業務を統合する。

【参 考】

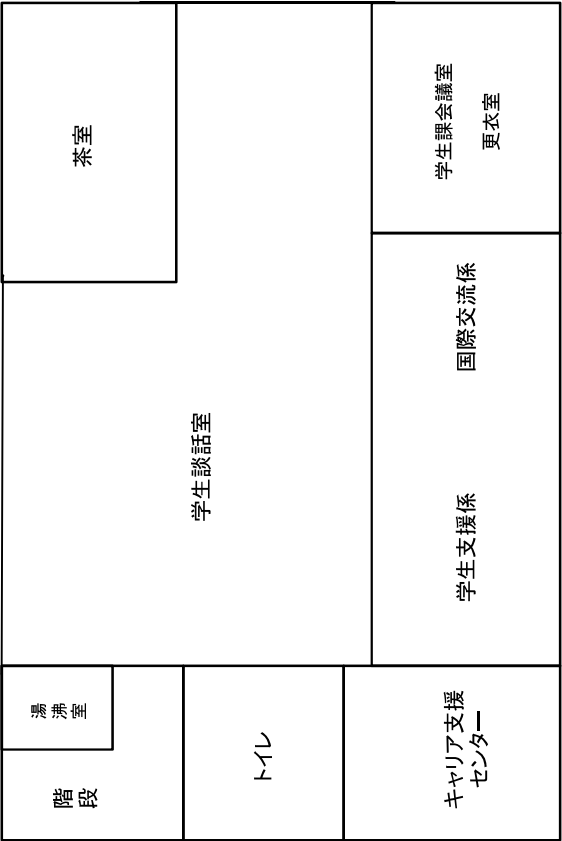
現在の国際交流係と「国際交流推進センター」の体制

	国際交流係	国際交流係(国際交流推進センター)
人 員	係長 1 名(学生課長事務取扱) 主事 1 名 契約職員 1 名	契約職員 2 名
場 所	滝子キャンパス学生会館 2 階	滝子キャンパス 1 号館 1 階
担当業務	○留学生の各種相談に対応する業務 ○大学間交流協定の管理に関する事務 ○教員海外派遣の支援に関する事務 ○海外教員招へいの支援に関する事務 ○交換留学生の派遣事務 ○交換留学生の受入れ事務 ○国費留学生制度対応に関する事務 ○留学生宿舍の管理・運営に関する事務 ○留学生奨学金の受給に関する事務 ○在留資格手続きに関する事務 ○留学生後援会に関する事務 他	○学生の留学相談の対応 ○Talk Time の運営 ○語学研修教材の貸出し ○交換留学生の派遣事務 ○交換留学生の受入れ事務 ○国連インターンシップへの派遣事務 ○留学生チューター制度の運営 他

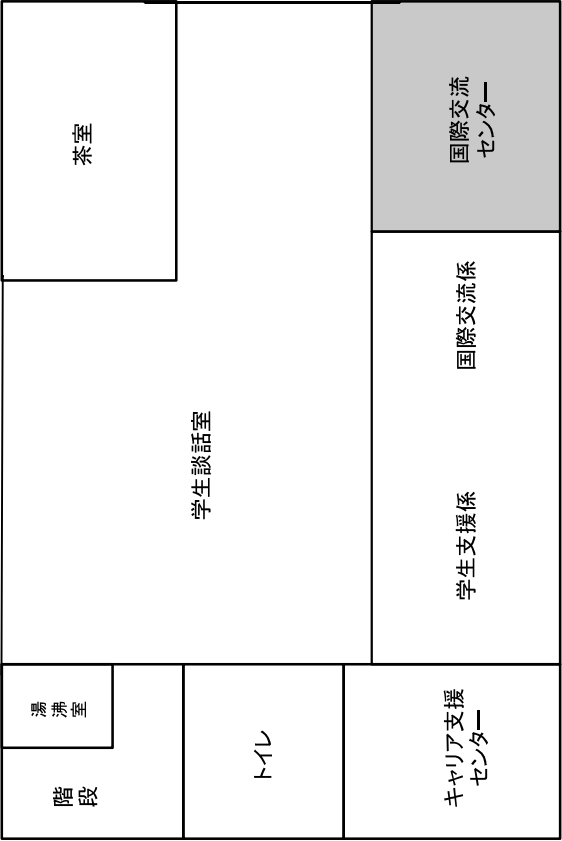
3 「国際交流推進センター」跡地の利用

- 平成 26 年度以降、「国際交流センター分室」として、Talk Time や留学に関するガイダンスをはじめとした各種行事を開催するための場所として随時利用する。
- 部屋の管理は、利用時に国際交流係員を配備して、これにあてることとする。

学生会館2階イメージ図（改修前）

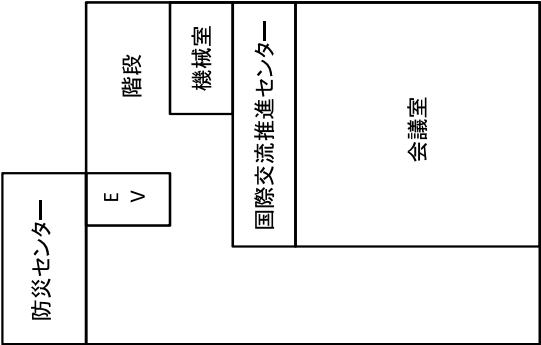


学生会館2階イメージ図（改修後）

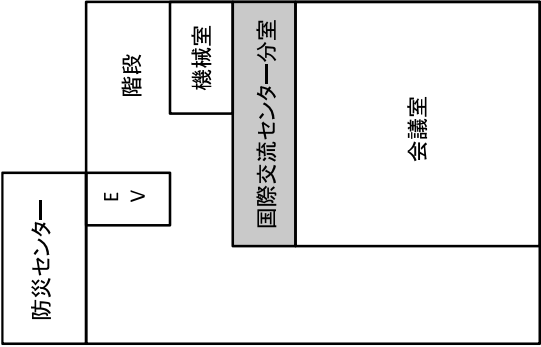


山の畑1号館1階イメージ図

（改修前）



（改修後）



1. 交流協定校一覧(29校/15か国)

(平成26年3月現在)

	大学名	国名	都市	対象学部	締結年月
大学間交流協定(24校/14か国)					
1	南カリフォルニア大学	アメリカ	ロサンゼルス市	薬	平成4年9月
2	ウィチタ州立大学	アメリカ	ウィチタ市	システム	平成14年12月
3	ニューサウスウェールズ大学	オーストラリア	シドニー市	全学	平成19年1月
4	トリノ工科大学	イタリア	トリノ市	芸工	平成13年1月
5	パドヴァ大学	イタリア	パドヴァ市	全学	平成23年2月
6	パリ第13大学	フランス	パリ市	全学	平成19年5月
7	サンティエティエンヌ大学アート・デザイン学校	フランス	サンティエティエンヌ市	全学	平成22年6月
8	ライプツィヒ応用科学大学	ドイツ	ライプツィヒ市	全学	平成21年3月
9	ルートヴィクスハーフェン経済大学	ドイツ	ルートヴィクスハーフェン市	全学	平成23年12月
10	ペーチ大学	ハンガリー	ペーチ市	全学	平成19年1月
11	マドリッド工科大学	スペイン	マドリッド市	全学	平成24年9月
12	南京医科大学	中国	南京市	医・薬	平成14年11月
13	瀋陽医学院	中国	瀋陽市	全学	平成20年12月
14	浙江大学管理学院	中国	浙江省	全学	平成21年5月
15	中央民族大学	中国	北京市	全学	平成22年6月
16	瀋陽薬科大学	中国	瀋陽市	全学	平成22年8月
17	黒竜江中医薬大学	中国	ハルビン市	全学	平成25年10月
18	ハルリム大学	韓国	春川市	全学	平成18年11月
19	南ソウル大学	韓国	天安市	全学	平成23年4月
20	コロンボ大学	スリランカ	コロンボ市	全学	平成19年1月
21	マレーシア国民大学	マレーシア	セランゴール州バンギ	全学	平成22年3月
22	ベトナム国立大学ホーチミン校	ベトナム	ホーチミン市	全学	平成22年3月
23	シャルジャ大学	アラブ首長国連邦	シャルジャ市	全学	平成23年6月
24	サント・トマス大学	フィリピン	マニラ市	全学	平成24年11月
学部間交流協定(5校/5か国)					
1	メリーランド芸術大学	アメリカ	バルティモア市	芸術工学部	平成25年4月
2	ハレ・ヴィッテンベルク-マルティン・ルター大学	ドイツ	ハレ市・ヴィッテンベルク市	人文社会学部	平成7年2月
3	ノッティンガム大学	イギリス	ノッティンガム	芸術工学部	平成24年12月
4	中国社会科学院日本研究所	中国	北京市	経済学部	平成9年10月
5	檀国大学	韓国	龍仁市	芸術工学部	平成25年6月

2. スタディーアブロードプログラム(3校/2か国)

	大学名	国名	都市	対象学部	締結年月
1	バックネル大学	アメリカ	ルイスバーク市	人文社会学部国際文化学科	平成16年11月
2	ロリンズ大学	アメリカ	ウィンターパーク市	全学	平成24年12月
3	クィーンズ大学 BISC	イギリス	ヘールシャム市	人文社会学部	平成19年5月
				経済学部	平成20年9月

【年度計画84】

周産期母子医療センターについて

	総合周産期母子医療センター		地域周産期母子医療センター
指定及び 認定	都道府県		都道府県
機能	・ MFICU を含む産科病棟及び NICU を含む新生児病棟を備え、常時の母体及び新生児の搬送授乳体制を有し、合併症妊娠、胎児・新生児異常等リスクの高い妊娠に対する医療、高度な新生児医療等の周産期医療を行うことができるとともに、必要に応じて関係診療科又は他の施設と連携し、産科合併症以外の合併症を有する母体に対応することができる。 ・ 地域周産期医療関連施設等からの救急搬送を受け入れるなど、周産期医療体制の中核として地域周産期母子医療センターその他の地域周産期医療関連施設等との連携を図る。		・ 産科及び小児科等を備え、周産期に係る比較的高度な医療行為をおこなうことができる医療施設。
診療科目	・ 産科及び新生児医療を専門とする小児科、麻酔科その他の関係診療科。 ・ 救命救急センター又はそれと同等の機能を有すること（救急科、脳神経外科、心臓血管外科又は循環器内科、放射線科、内科、外科等を有することをいう）		・ 産科及び新生児医療を担当する小児科。 ・ 麻酔科その他関連診療科を有することが望ましい。
設備	MFICU	次に掲げる設備を備え、必要に応じ個室とする。	・ 産科を有する場合は次に掲げる設備を備えることが望ましい。 緊急帝王切開術等の実施に必要な医療機器 分娩監視装置 超音波診断装置（カラードップラー機能を有するもの） 微量輸液装置 その他産科医療に必要な設備 ・ 小児科等には新生児病室を有し、次に掲げる設備を備える NICU を設けることが望ましい。 新生児用呼吸循環監視装置 新生児用人工換気装置 保育器 その他新生児集中治療に必要な設備
		分娩監視装置 呼吸循環監視装置 超音波診断装置（カラードップラー機能を有するもの） その他母体・胎児集中治療に必要な設備	
	NICU	新生児用呼吸循環監視装置 新生児用人工換気装置 超音波診断装置（カラードップラー機能を有するもの） 新生児搬送用保育器 その他新生児集中治療に必要な設備	
	GCU	輸液、酸素投与等の処置及び心拍呼吸監視装置の使用を必要とする新生児の治療に必要な設備を整えること。	
	・ 新生児と家族の愛着形成を支援するため、長期間入院する新生児を家族が安心して見守れるよう、NICU,GCU 等への入室面会及び母乳保育を行うための設備、家族宿泊設備等を備えることが望ましい。		
	ドクターカー	母体又は新生児を搬送するために必要な患者監視装置、人工呼吸等の医療機器を搭載したドクターカーを必要に応じ整備。	

	検査機能	血液一般、凝固系、生化学一般、血液ガス、輸血用検査、エックス線検査、超音波診断装置（カラードップラー）分娩監視装置による連続的な監視が常時可能であること。		
病床数	MFICU	・ 6 床以上。これと同等の機能を有する陣痛室の病床を含めて算定して差し支えない。ただし、陣痛室以外の MFICU の病床数は 6 床を下回ることはいない。 ・ MFICU の後方病室は MFICU の 2 倍以上の病床数を有することが望ましい。		
	NICU	9 床以上（ 12 床以上とすることが望ましい）。		
	GCU	NICU の 2 倍以上の病床数を有することが望ましい。		
職員	MFICU	・ 24 時間体制で産科を担当する複数（病床数が 6 床以下であって別途オンコールによる対応ができる者が確保されている場合にあっては 1 名）の医師が勤務。 ・ 3 床に 1 名の助産師又は看護師が勤務。	小児科	・ 24 時間体制を確保するために必要な職員。
	NICU	・ 24 時間体制で新生児医療を担当する医師が勤務。なお、NICU の病床数が 16 床以上である場合は、24 時間体制で複数の医師が勤務していることが望ましい。 ・ 常時 3 床に 1 名の看護師が勤務。 ・ 臨床心理士等の臨床心理技術者を配置。	産科	・ 帝王切開術が必要な場合に迅速（おおむね 30 分以内）に手術への対応が可能となるような医師（麻酔科医含む）及びその他の各職員。
	GCU	・ 常時 6 床に 1 名の看護師が勤務。	新生児病室	・ 24 時間体制で病院内に小児科を担当する医師が勤務。 ・ 各地域周産母子センターにおいて設定した水準の新生児医療を提供するために必要な看護師が適当数勤務。 ・ 臨床心理士等の臨床心理技術者を配置。
	分娩室	・ 原則として、助産師及び看護師が病棟とは孤立して勤務していること。ただし、MFICU の勤務を兼ねてもよい。		
	その他	・ 麻酔科医の配置。 ・ NICU 入院児支援コーディネーターの配置が望ましい。		
連携機能		・ オープンシステム・セミオープンシステム等の活用、救急搬送の受け入れ、合同症例検討会の開催等により、地域周産期母子医療センターその他の地域周産医療関連施設等と連携を図るものとする。		・ 総合周産期母子医療センターからの戻りの搬送の受け入れ、オープン・セミオープンシステム等の活用、合同症例検討会の開催等により、総合周産期母子医療センターその他の地域周産期医療関連施設等と連携を図るものとする。

・「NICU(新生児集中治療管理室)」とは

《 neonatal intensive care unit 》 低出生体重児や疾患のある新生児を収容して、最も効果的かつ集約的な治療を行うための施設。新生児集中治療室。新生児特定集中治療室。

・「GCU (継続保育室) 」とは

《 Growing Care Unit 》 出生時・出産後に生じた問題が解決・改善した新生児の経過を観察する施設。NICU で治療を受け、状態が安定した後に移されることが多い。継続保育室。新生児治療回復室。

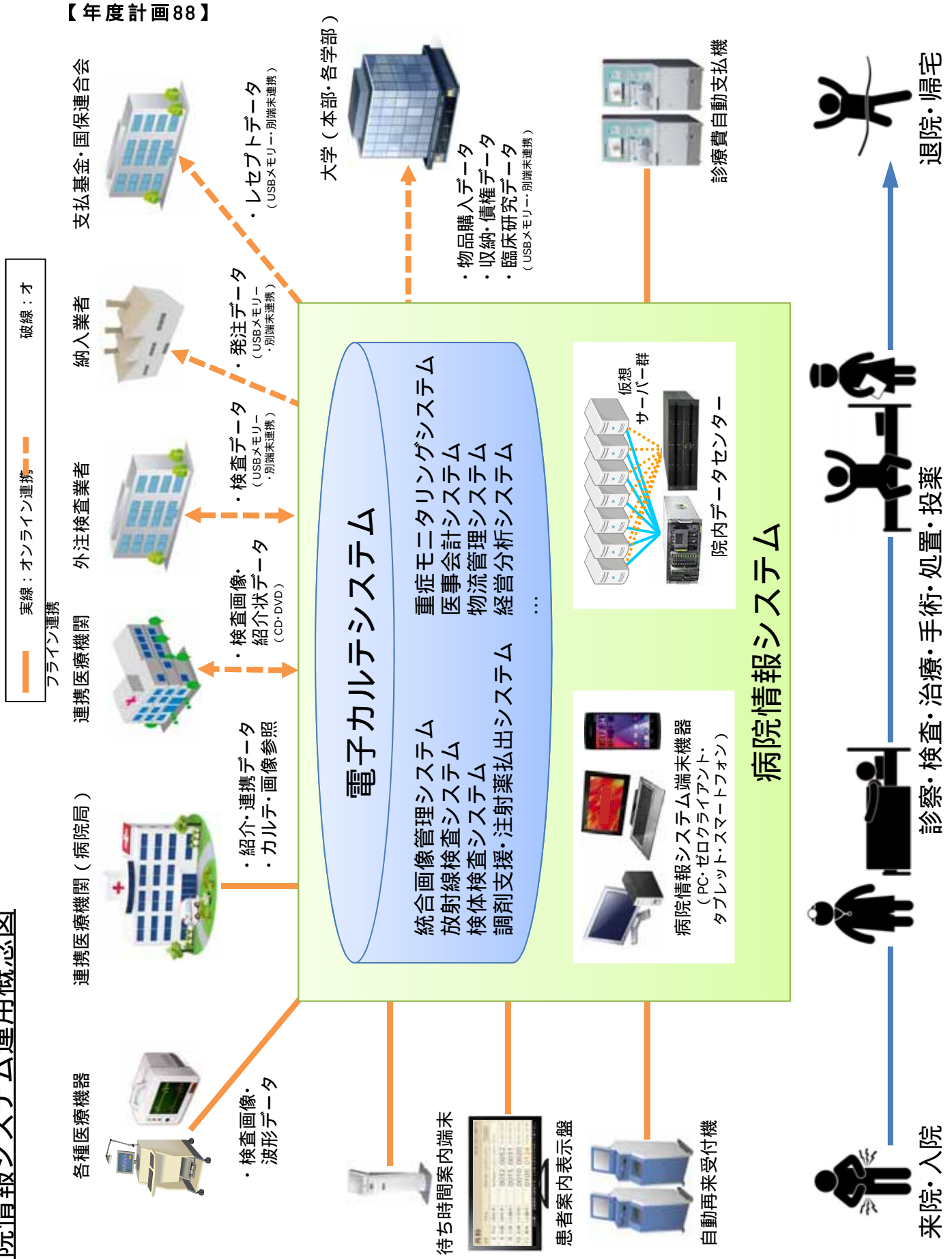
・「MFICU (母体・胎児集中治療管理室) 」とは

《 Maternal Fetal Intensive Care Unit 》 重い妊娠中毒症、前置胎盤、合併症妊娠、切迫早産や胎児異常など、ハイリスク出産の危険度が高い母体・胎児に対応するための設備（分娩監視装置、呼吸循環モニター、超音波診断装置、人工呼吸器など）を備え、主として産科医療を専門とするスタッフが24時間体制で治療を行う集中治療室の略称。母体胎児集中治療室。母体胎児集中治療管理室。

・「PICU (小児集中治療管理室) 」とは

《 Pediatric Intensive Care Unit 》 小児の大けがや、緊急を要する脳・内臓などの疾患に対応できる設備と医療スタッフを備えた集中治療室。小児集中治療室。小児集中治療管理室。

病院情報システム運用概念図





今春4月18日～4月19日に受審した病院機能評価について、8月2日付で認定されることが確定しました。同審査区分では、全国第一号の認定です。

新しい基準の病院機能評価を全国で最初に受審するにあたり、手探りの中職員の皆様に多大なる努力をいただいた結果、6月に公開された“中間的な結果報告”では全体的に高い評価をいただき、項目によっては最高評価である“S評価”をいただくことができました。

これは5年前の病院機能評価受審以後、皆様の病院をより良くしたいという気持ちと努力の積み重ねが文化として定着してきたことの表れであると考えており、職員の皆様に厚くお礼を申し上げます。

評価結果の詳細は9月下旬に報告書としていただける予定ですので、届き次第各種委員会を通じてご報告します。

病院機能評価は認定がゴールではありません。引き続き質の高い病院を目指して努力して参りますので、皆様のご協力をいただきますようお願い申し上げます。

病院長

【今後の予定】

8月30日（金） 認定証発行
9月下旬 報告書の郵送

【参考】

8月8日より病院機能評価機構のホームページに「認定病院」として掲載されています。
(HPアドレス <http://jcqhc.or.jp/>)

《中間的な結果報告集計》

評価		1領域	2領域	3領域	4領域	合計	割合
S	秀でている	2	1	3	0	6	6.8%
A	適切に行われている	17	30	10	20	77	87.5%
B	一定の水準に達している	2	2	1	0	5	5.7%
C	一定の水準に達しているとは言えない	0	0	0	0	0	0.0%
合計		21	33	14	20	88	100.0%

これからも皆で
頑張りましょう！



名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1
名古屋市立大学病院
戦略企画室
管理部
院内広報誌編集作業チーム
連絡先 事務課病院経営係
電話 052(858)7116
E-mail sakura@med.nagoya-cu.ac.jp

この院内広報誌は再生紙を使用しています。

新聞にも掲載されました！

名市大病院に高い評価

患者立場重視 機能「新基準」で認定

名古屋市立大病院
(名古屋市瑞穂区)

は、「病院機能評価」

で患者の立場を重視し
た「新基準」の認定を
受けたと発表した。病
院運営や医療の質が高
く評価されたもので、
急性期医療を担う五百
床以上の基幹病院では

全国初。認定は今年二
月一日で期限は五年間。

病院機能評価は、第

能評価機関「日本医療機
能評価機構」(東京都)

が実施。新基準は「患

者中心の医療「理念違
成に向けた組織運営」
など四領域の八十八項
目で、四月に医師や看
護師ら六人でつくる評
価チームの訪問審査を
受けた。

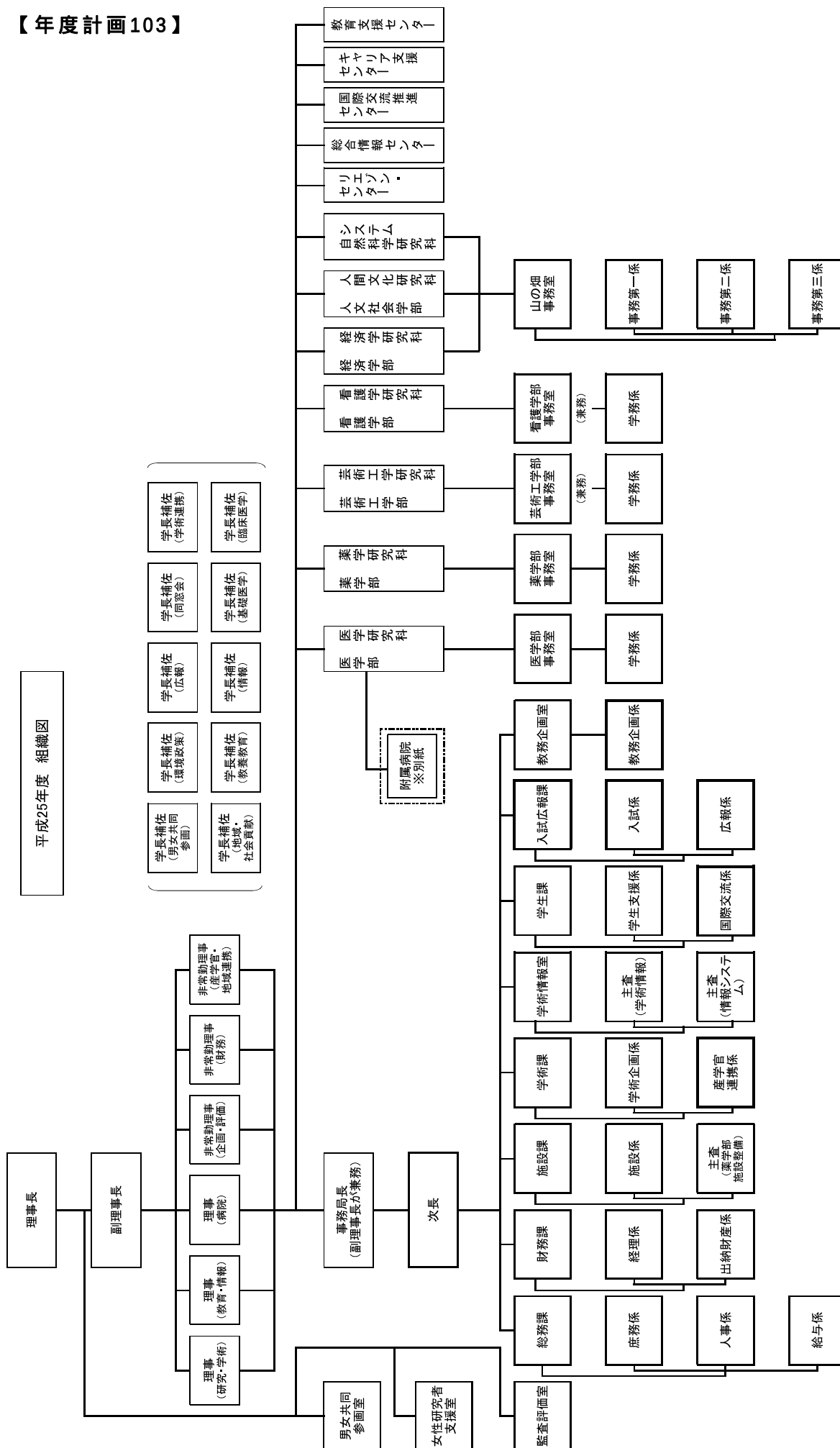
審査の結果、「地域
の医療を提供する体制

の診療所との連携」
「放射線治療」「薬剤
の管理」など六項目で
「秀でている」とされ
るなど、総合的に高い
評価を受けた。

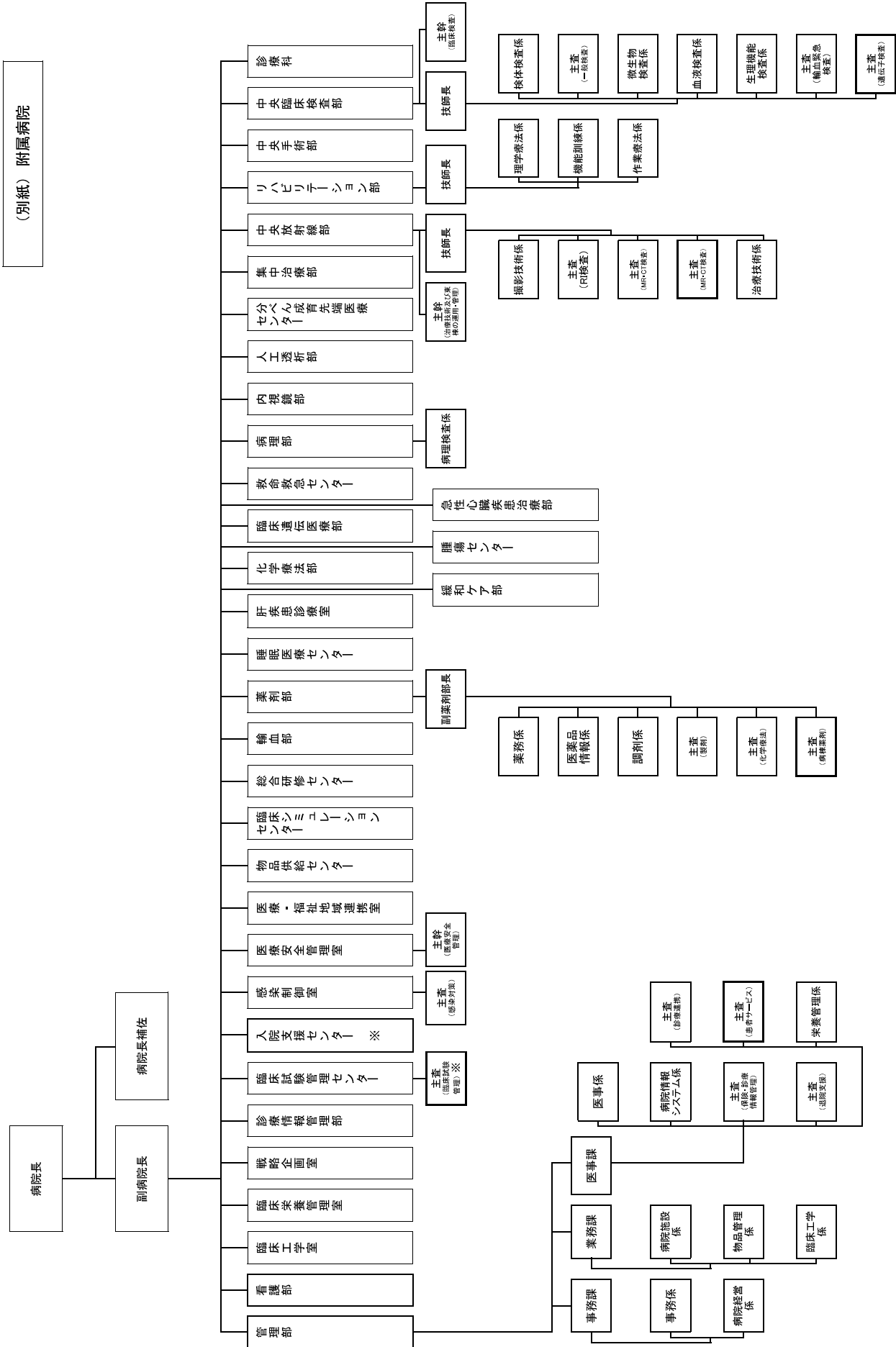
城卓志院長は「当院

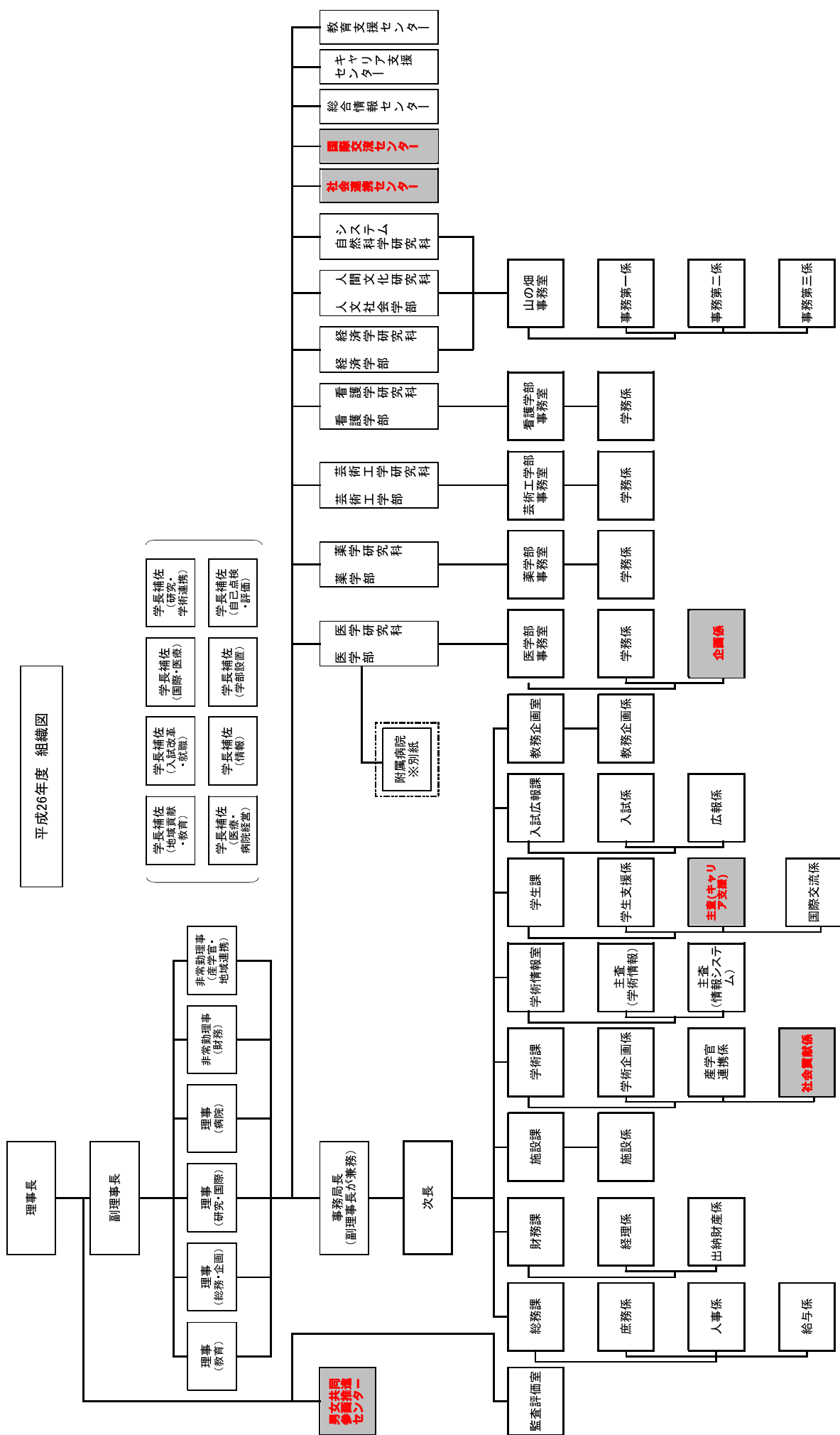
が適切であることが評
価され、大変うれし
い。患者の視点を重視
する機能評価を受け、
成長できたと実感して
いる」とコメントし

平成25年8月13日
中日新聞 朝刊 18面抜粋

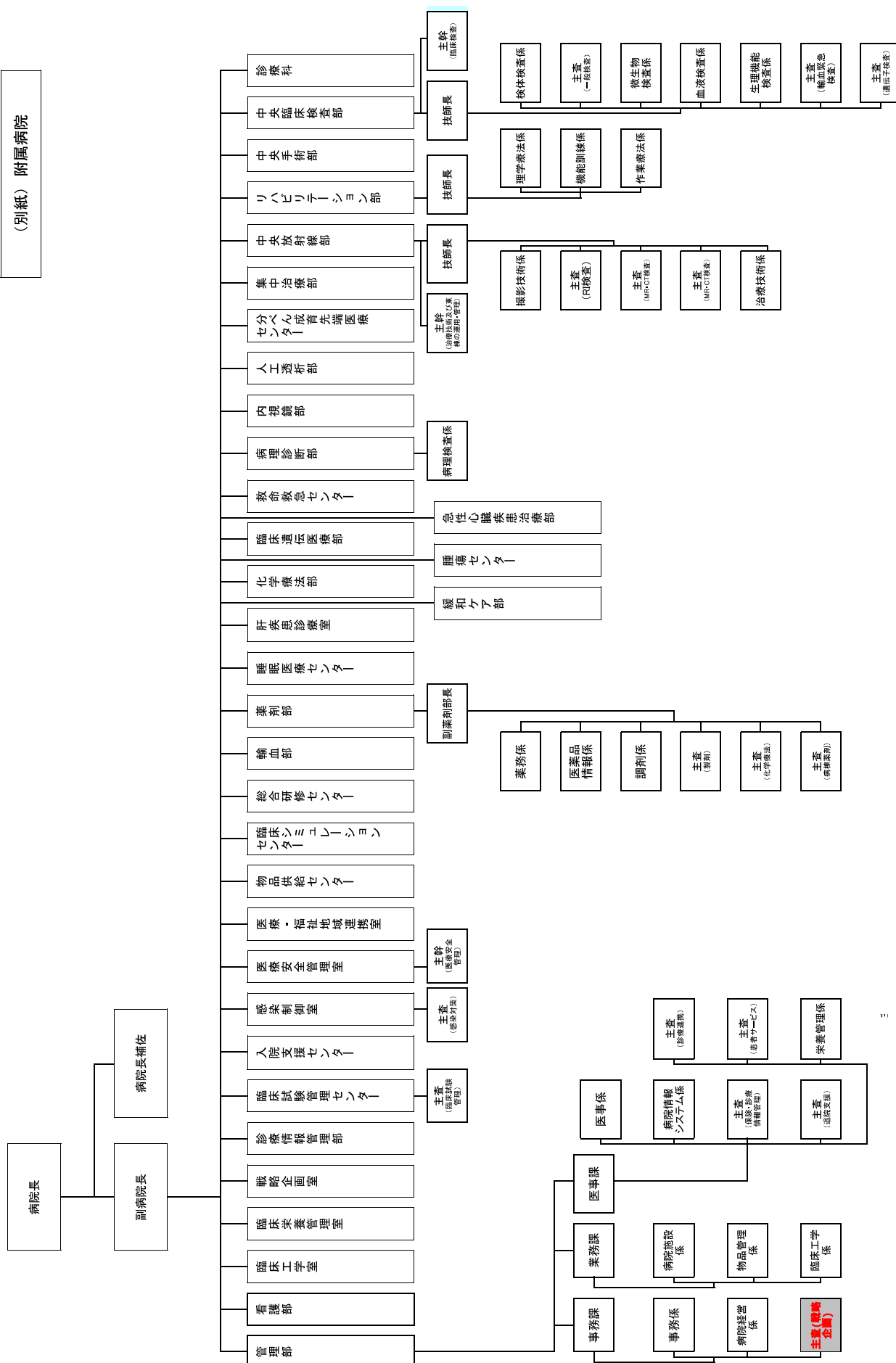


(別紙) 附属病院





(別紙) 附属病院



【年度計画115】

名古屋市立大学交流会 設立総会・記念講演会・懇親会

平成 25 年 10 月 19 日（土）13 時 30 分～

於：名古屋市立大学桜山キャンパス

さくら講堂（設立総会・記念講演会）

本部棟 4 階ホール（懇親会）

司会：山田 陽子

< 総 会 >

- 1、開会
- 2、会長挨拶
名古屋市立大学交流会 会長
公立大学法人名古屋市立大学 理事長・学長
戸 蒔 創
- 3、大学近況報告
- 4、祝電紹介
- 5、閉会

< 記念講演会 >

- 1、記念講演
柳田 邦男（ノンフィクション作家・評論家）
「人間を見る眼～専門的職業人として～」

< 懇 親 会 >

- 1、開演
本学吹奏楽部 演奏
- 2、開会の辞
名古屋市立大学 同窓会担当学長補佐
名古屋市立大学 人間文化研究科教授
野中 壽子
- 3、乾杯
名古屋市立大学交流会会長
公立大学法人名古屋市立大学 理事長・学長
戸 蒔 創
- 4、会食
本学邦楽部 演奏
- 5、来賓紹介
同窓会長紹介
- 6、大学祭の紹介
大学祭実行委員 山中 純（人文社会学部 3 年）
- 7、学生歌斉唱
本学オーケストラ部、合唱部
「新緑薫りて」「今思え！君よ」
- 8、閉会挨拶
名古屋市立大学交流会副会長
公立大学法人名古屋市立大学 副理事長・事務局長
三宅 勝

本会は名古屋市立大学卒業生、修了生、
現任教職員等を会員として
全学的な会員相互の交流・連携により
大学の発展と社会への貢献を
目指します。

www.koryukai.jp



今回は設立記念の講演会となります。
まだ会員になられていない方もご参加
できますので、是非ふるってお申込み
ください。

名古屋市立大学交流会 設立総会・記念講演会

参加申込書 10月19日(土)	
ご芳名	
TEL	
Email	
区分(○をつけてください)	
卒業生/修了生(学部・研究科)	()
旧教職員・現教職員	()
その他()	()
ご参加希望(○をつけてください)	
1部 設立総会・2部 記念講演会・3部 懇親会	
*本申込書により取得する個人情報、名古屋市立大学交流会 以外の目的で利用いたしません。	

テーマ 人間をみる目 ～ 専門的職業人として～

講演 柳田 邦男氏
ノンフィクション作家・評論家



日時 2013年10月19日 (土)
1部 13:30-14:00 設立総会
2部 14:15-15:45 記念講演会
3部 16:00-17:30 懇親会 *会費1,000円 (当日お支払いください)
場所 名古屋市立大学 桜山キャンパス「さくら講堂」
*懇親会場 「本部棟4階ホール」

名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1 (地下鉄桜通線桜山駅下車3番出口から徒歩5分)

申込方法 交流会HP、メール、FAXまたは直接お電話にて左記申込内容をご連絡ください

名古屋市立大学交流会事務局
(名古屋市立大学事務局総務課内)
http://www.koryukai.jp
Email : koryukai@sec.nagoya-cu.ac.jp
TEL : 052-853-8003 FAX : 052-841-6201
先着定員500名
(定員になり次第、締切とさせていただきます)



企画主催 名古屋市立大学交流会

※ 本学は敷地内禁煙を実施するとともに、周辺道路での禁煙にも努めておりますのでご協力ください。

平成 25 年 4 月 1 日

各研究科長および看護学部長 様

理 事 長
男女共同参画室・女性研究者支援室室長

女性教員採用に対するインセンティブ経費付与について

本学では、第二期中期計画で「教育・研究と出産・育児の両立ができる就業環境の整備等を通じ、女性教員比率の向上をめざす」こととし、女性教員比率 27%という数値目標を掲げています（目標年次：平成 29 年度）。

しかしながら現状の女性教員比率は 20.4%であり（平成 25 年 3 月）目標の達成に向けより積極的な対策が必要と考えられます。

そこで、下記のとおり、一定の条件下において、女性教員を採用した場合にインセンティブ経費を付与することといたしました。つきましては、該当者がいる研究科等におかれましては、別紙のとおり申請していただきますようお願い申し上げます。

記

1 インセンティブ付与条件

女性教員を採用したときに、当該採用ポストの前任者が男性であった場合、または当該採用ポストが新設である場合に、採用を行った部局（医学研究科・薬学研究科においては、採用となる講座）に対して、インセンティブ経費を付与する。ただし、医学研究科における欠員活用による女性教員採用を除く。

2 対象者

公立大学法人名古屋市立大学職員就業規則第 2 条第 1 項に規定する教員

3 対象期間

平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 1 月 1 日における採用（着任）

4 付与金額

対象となる採用1件につき100万円。

インセンティブ経費の付与については、全体で10件（1,000万円）を上限とする。

5 申請手続

インセンティブ付与を希望する部局の長は、該当する女性教員の着任後2週間以内に、申請書（別紙様式1）を男女共同参画室・女性研究者支援室まで提出する。

申請書記載事項の確認後、当該部局に対して、理事長裁量経費を研究費として配分する。なお、医学研究科・薬学研究科においては、配分された研究費を採用講座の執行に供するものとする。

6 注意事項

インセンティブ経費については、平成25年度内に執行するものとする。

インセンティブ付与対象となった女性教員が、1年未満で退職した場合には、当該部局は、インセンティブ経費を返還するものとする。なお、具体的な返還方法については、該当事案が発生した場合に、協議の上、決定する。

平成26年度の実施については、平成26年度予算の状況による。

男女共同参画室・女性研究者支援室
TEL 853-8577 FAX 853-8588

【年度計画139】

教員の所属別・補職別・性別比率について

(平成26年3月1日現在員)

所 属		教 授	准教授	講 師	助教	助手	計
医学研究科		人 38	人 49	人 62	人 130	人	人 279
	男 性	37	46	52	102		237
	比率 %	97.4	93.9	83.9	78.5		84.9
	女 性	1	3	10	28		42
	比率 %	2.6	6.1	16.1	21.5		15.1
薬学研究科		18	15	11	13		57
	男 性	18	15	9	11		53
	比率 %	100.0	100.0	81.8	84.6		93.0
	女 性	0	0	2	2		4
	比率 %	0.0	0.0	18.2	15.4		7.0
経済学研究科		17	16	3		5	41
	男 性	17	11	2		0	30
	比率 %	100.0	68.8	66.7		0.0	73.2
	女 性	0	5	1		5	11
	比率 %	0.0	31.3	33.3		100.0	26.8
人間文化研究科		28	14				42
	男 性	19	9				28
	比率 %	67.9	64.3				66.7
	女 性	9	5				14
	比率 %	32.1	35.7				33.3
芸術工学研究科		15	14	0	1		30
	男 性	13	12	0	1		26
	比率 %	86.7	85.7	-	-		86.7
	女 性	2	2	0	0		4
	比率 %	13.3	14.3	-	-		13.3
看護学部		9	10	7	8		34
	男 性	4	0	0	2		6
	比率 %	44.4	0.0	0.0	25.0		17.6
	女 性	5	10	7	6		28
	比率 %	55.6	100.0	100.0	75.0		82.4
システム自然科学研究科		11	10	1	1		23
	男 性	10	9	1	1		21
	比率 %	90.9	90.0	-	100.0		91.3
	女 性	1	1	0	0		2
	比率 %	9.1	10.0	-	0.0		8.7
合 計		136	128	84	153	5	506
	男 性	118	102	64	117	0	401
	比率 %	86.8	79.7	76.2	76.5	0.0	79.2
	女 性	18	26	20	36	5	105
	比率 %	13.2	20.3	23.8	23.5	100.0	20.8

役員3人(学内教員 医1・薬1・経1 各教授)は含まない。
外国人教師(人文社会学部)7人は含まない。